

創立153周年

始良市立柁城小学校 学校だより夏休み号



生き生き柁城

やる気・元気・根気



No.473
令和6年7月19日

いきいき柁城ブログ
1学期の様子を
どうぞご覧ください

1学期間、ありがとうございました。
チャレンジのある夏休み、安全な夏休みに。

校長 有村 和章

本日で1学期が終了しました。1学期の授業日数は75日。始業式、入学式に始まり、新入生を迎える会や一日遠足(1~4年生)、集団宿泊学習(5年生)、郷土学習ウォークラリー(6年生)、プール開きなど、楽しい思い出もたくさんできたことと思います。また、登下校の見守り隊活動を初めとし、各種健診や避難訓練、交通安全教室、租税教室、くも合戦教室、歯と口の健康教室等のご指導、習字学習やサツマイモの植え付け、絵本の読み聞かせ等のサポートボランティア、そして各種PTA活動など、保護者並びに地域、関係機関の皆様には本校の教育活動に多大なるご協力をいただきました。おかげさまで子供たちは充実した学びを積み重ね、健やかに成長することができています。心より御礼申し上げます。

さて、明日から夏休みです。終業式では、子供たちに次の2点について話をしましたので、ご家庭でも話題にいただけますと幸いです。子供たちにとって充実したよい夏休みになることを願っています。



みんなの頑張りで
学校賞をいただきました！

チャレンジのある夏休みに

44日間もあります。「今年の夏休みは、〇〇ができるようになるう。」「〇〇に取り組んでみよう。」と目標を立てると日々の過ごし方が変わってくると思います。例えば、どんなチャレンジがあるでしょうか。1学期を振り返ったり、自分の興味・関心があることを考えたりするといいいですね。

- 毎朝、ラジオ体操に行こう。
- いつもより少し厚めの本を読んでみよう。
- 1学期に頑張った音読や暗唱、計算練習などをこのまま続けよう。
- 1学期に難しかったところをもう一度おさらいしよう。
- 1学期の学習を生かして自由研究や作文、習字、絵画などに取り組んでみよう。 など

安全な夏休みに

私たちの周りには至る所に危険が潜んでいます。暑くなり、熱中症や水難事故も多発しています。「自分の命は自分で守る。」「安全以上に優先するものはない。」ことを再確認しながら毎日を過ごしてほしいと思います。具体的には、次のようなことが考えられます。

- 熱中症事故防止：エアコン等の適切な使用、早めの水分補給、適度な休憩、服装の工夫
- 水難事故防止：遊泳禁止箇所の確認、子供だけで海や川、プール等に行かない。
- 交通事故防止：道路に飛び出さない。線路付近で遊ばない。自転車はヘルメット着用。
- 転落事故防止：高い所に昇らない、近づかない。ベランダ等に台になるものを置かない。
- 落雷事故防止：天気予報の確認、雷鳴が聞こえたら活動を中止し、屋内に即刻避難。
- 不審者対策：地域の方に進んで挨拶をする。「いかのおすし」を守る。

※ 休日及び学校閉庁日の緊急連絡は、マチコミをご利用ください。連絡方法を先日、マチコミで送信してあります。

【保護者・学校（園）用】

水難事故防止対策

1 水難事故の実態

水難事故はどんな状況で起こっているか。

水難事故発生例

小学生が一人で祖母宅に向かう途中、誤って川に転落し溺れた。当時、大雨により川は増水し、路面も滑りやすい状況であった。

河原でバーベキューをしているとき、川岸で遊んでいた子どもが転倒し溺れた。親は、バーベキューの後片付けに気を取られていた上に、水深が比較的浅いところであったので油断していた。

家族で海で遊んでいるとき、浮き輪につかまって遊んでいた子どもが、浮き輪から手を離してしまい溺れた。親は近くで一緒にいたが、ふと目を離れたすきの出来事であった。

- 家族で海水浴に行っているとき
 - 友達と川や海で遊んでいるとき
 - 監視員がいるプールで泳いでいるとき
 - 側溝に落ち、流れに足をとられたとき
 - 家庭のお風呂 など
- いつでも、どこでも事故発生の可能性があります！！**

2 未然防止に向けて（我が子の命を守るために）

水難事故を防ぐためのポイント

★海・川・プールに行くときは

**親は、4つの
事前チェックを！**

- ① 天気や風の強さ、波の高さの情報
- ② 健康状態（空腹時・睡眠不足時は泳がない）
- ③ 携帯するもの（携帯電話・救命具）
- ④ 熱中症予防対策（水分補給）

- 到着したらすぐに確認 **泳いでいい状況か！**
- ① 監視員はいるか。
 - ② 監視の死角はないか。
 - ③ 流れが速くないか。
 - ④ 水温は低くないか。
 - ⑤ 深いところはないか。
 - ⑥ AED等はどこにあるか。
 - ⑦ 天候急変の兆しはないか。
- 7か条のポイント

★海・川・プールで泳ぐときは

**親は、絶対に
目を離さない！**



- ◎ 人任せにせず、親がわが子を監視せよ！
- 海では、双眼鏡を準備して常に監視せよ！
- 救命具を準備せよ！（2リットルのペットボトル3本を丈夫なひもでくくったもの 等）
- 20分～30分で休憩を確保せよ！（連続で泳がせない。）
- 浮き輪や遊泳玩具があっても、おぼれることを心得よ！